

2016年(平成28年)10月期 期末決算説明資料

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長

宮崎 勝

取締役経営管理部長

伊藤 純一郎

留意事項

このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ホームページ『IR情報/IR資料室：決算説明資料等』に掲載します。

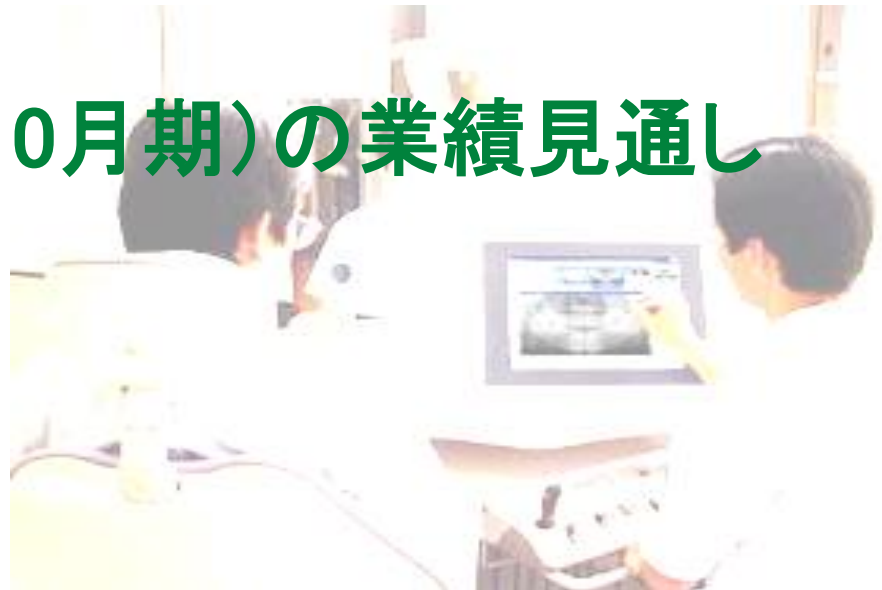
URL <http://www.softs.co.jp/ir/financial/setumei.html>

このプレゼンテーション資料には、2017年1月11日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。国内外の経済環境・競争状況の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる場合があります。

※このプレゼンテーション資料の金額は切り捨てで表示しています。

アジェンダ

1. 会社紹介
2. 業界動向
3. 48期(平成28年10月期)の状況
4. 今後の戦略
5. 49期(平成29年10月期)の業績見通し
6. 質疑応答



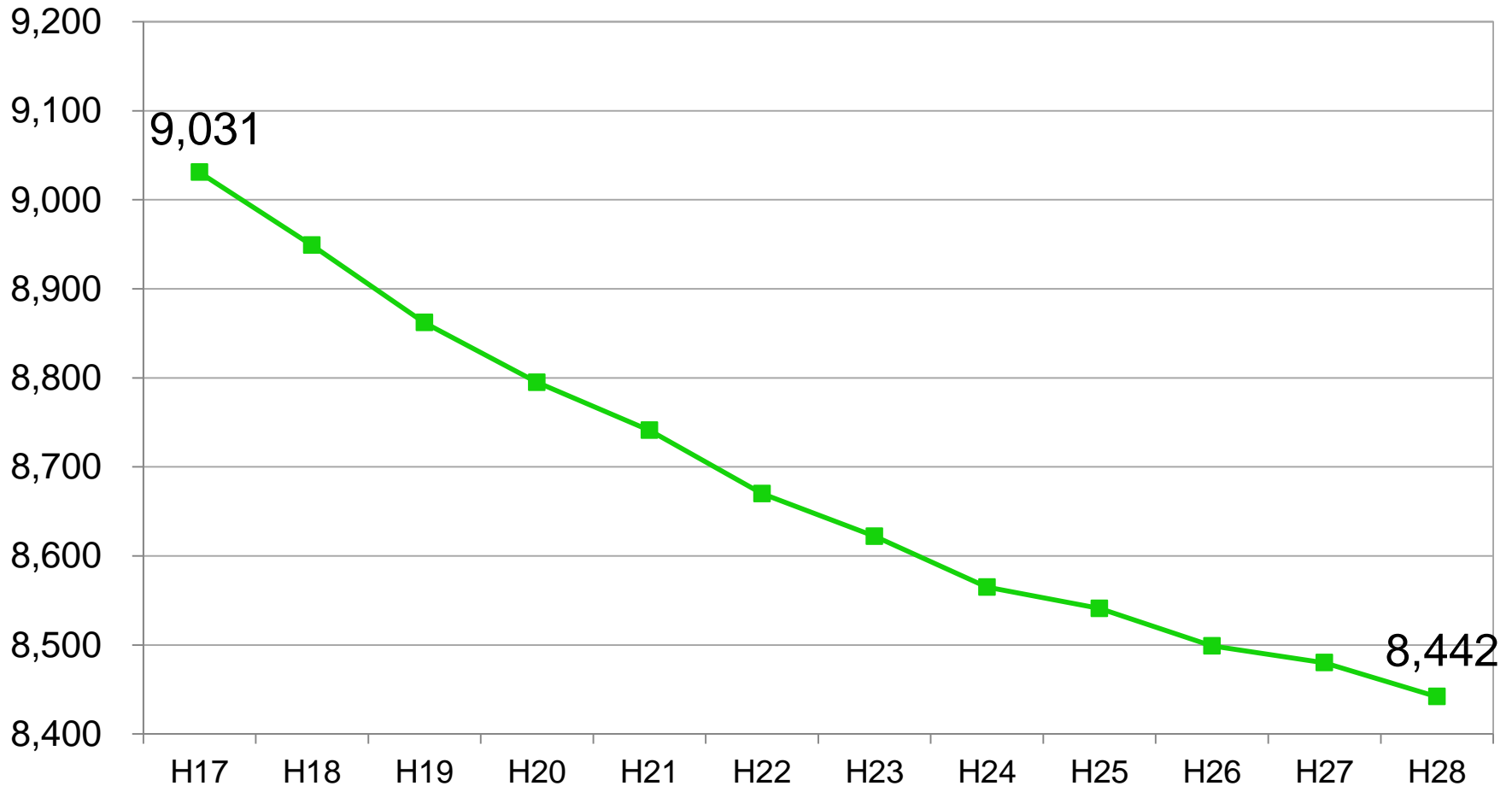
1. 会社紹介

会社概要

- 社名 株式会社ソフトウェア・サービス
 - 所在地 本店：大阪市淀川区西宮原2-6-1
 - 設立 昭和44年4月
 - 従業員 1,122名（平成28年10月31日現在）
 - 資本金 847百万円（ジャスダック上場・平成16年2月20日）
 - 事業内容 医療情報システム（専門特化）の開発・販売・指導・保守
 - ユーザー 531ユーザー <うち電子カルテユーザー：472 >（H28.10現在）
 - 企業ポリシー
 - ①専門特化
 - ②創造価値
 - ③自主独立
- ⇒この3原則により「医療」「システム」の膨大なノウハウを蓄積し、「高品質・高機能」「適正価格」「顧客満足度向上」を実現

2. 業界動向

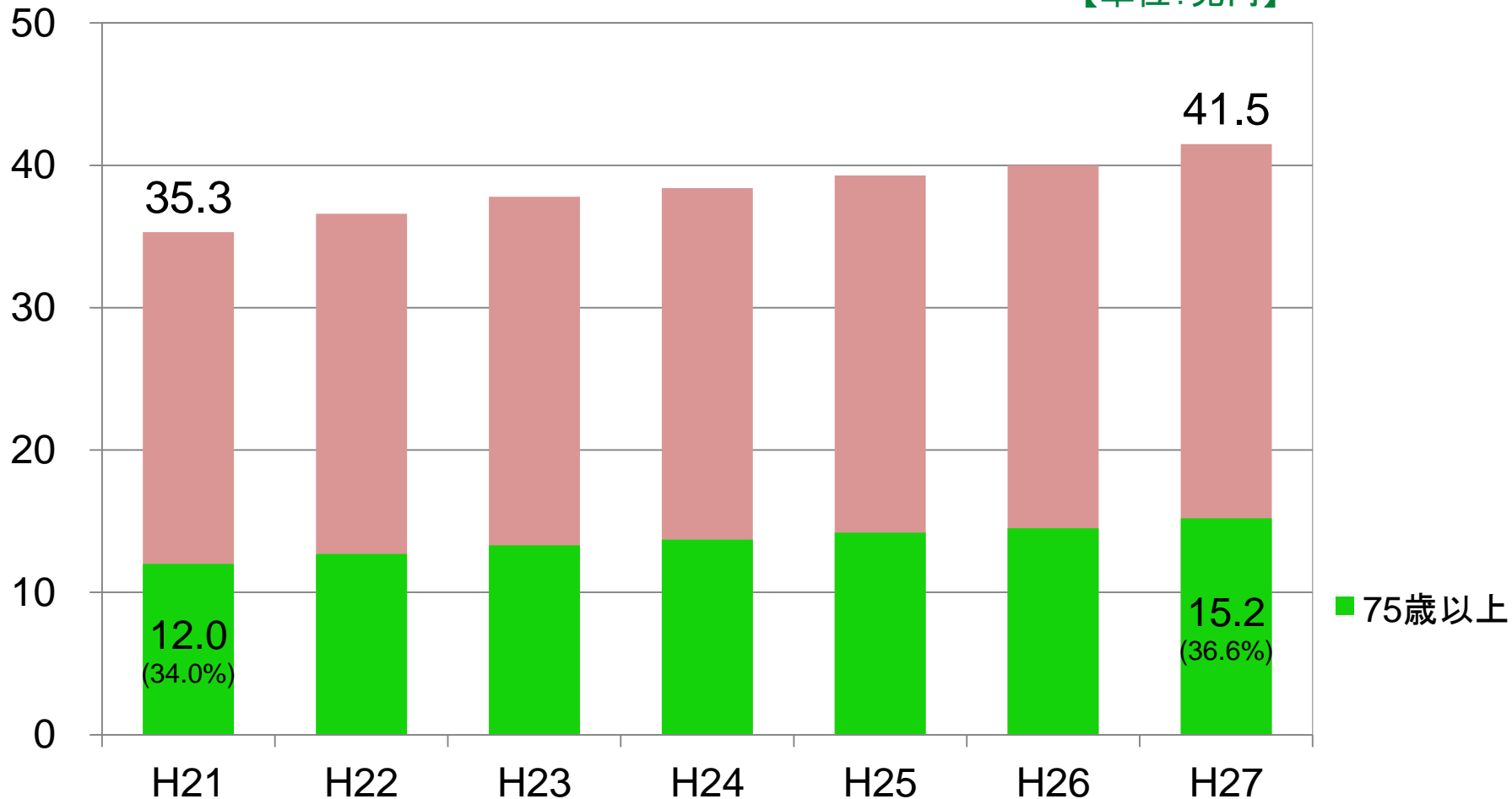
病院施設数の推移



(厚生労働省 医療施設動態調査:平成17年9月～平成28年9月)

概算医療費(速報値)の推移

【単位:兆円】



(厚生労働省 概算医療費データベース:平成21年~平成27年)

増え続ける国民医療費

■ 2015年度の国民医療費（概算値）

⇒ 2015年度の国民医療費が、前年度比3.8%増の41.5兆円。増加は13年連続で、過去最高。伸び率も高くなっている。高齢化に加え、高額新薬の利用が増えたため。

■ 世界最速で進む日本の高齢化

⇒ 高齢者人口は増加を続け、今から25年後の2042年にピークとなる見通し(3878万人)。

医療改革・高齢化社会への対応

■ 薬価改定の頻度を高める

⇒ 年1回に増やす方針。医療費の伸びを抑制して財政再建する必要性がある。

■ 地域包括ケアシステムの推進

⇒ 住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けられるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供 = 情報共有が最重要。

業界状況

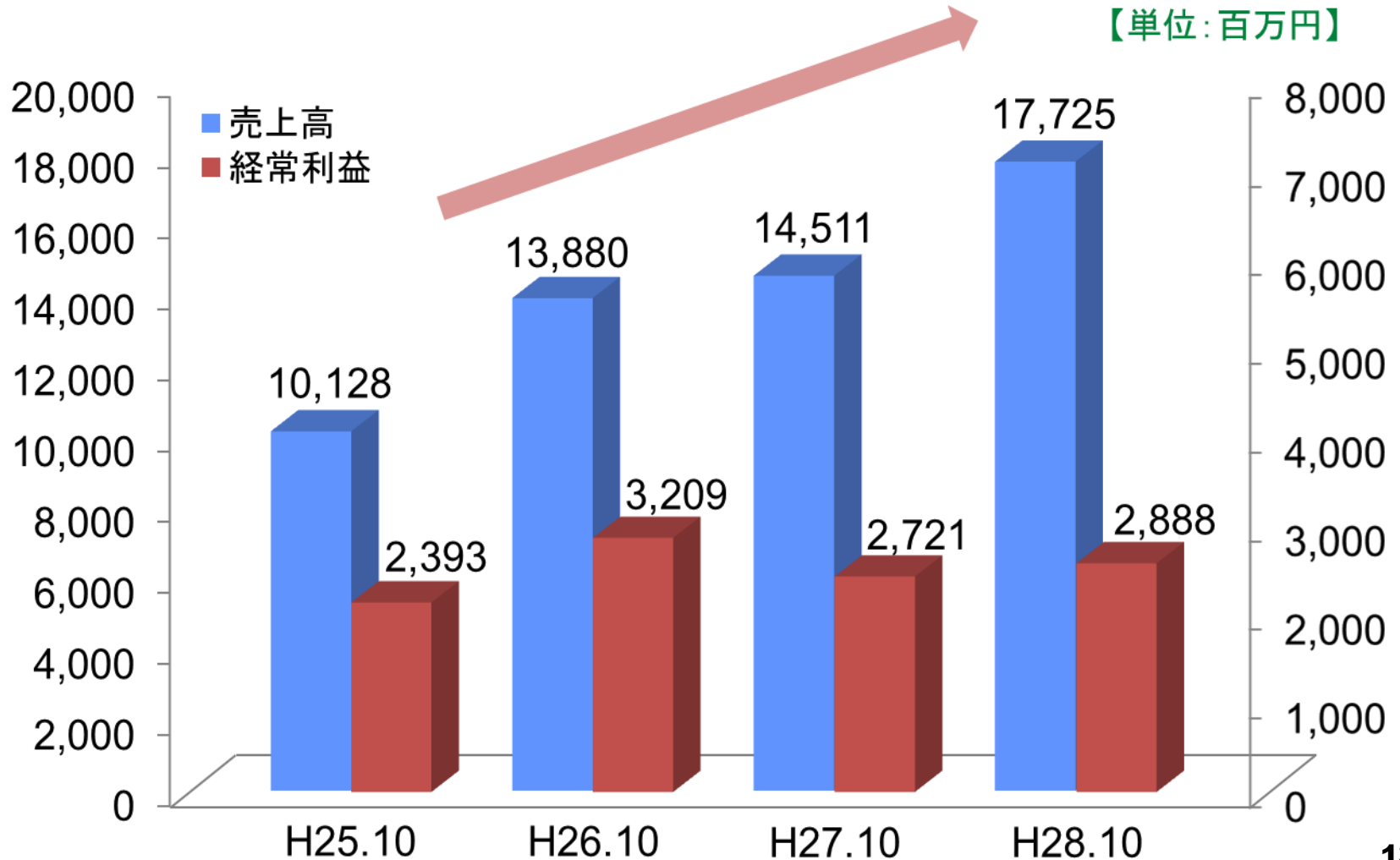
■ 電子カルテの普及状況

- ・電子カルテの導入数は、2697病院。
普及率は32%。当社シェアは19%。
⇒情報共有の観点から、電子化は必須である。
⇒医療機関同士の連携はもちろん、地域包括ケアにより、住み慣れた地域で切れ目ない医療介護サービスや予防・生活支援の提供も目指すことで、医療と介護の連携は必須であることから、引合いは堅調に推移している状況である。

(数値は「月刊新医療 医療機器システム白書2017」より)

3. 48期(平成28年10月期)の状況

事業年度の売上高・経常利益の推移

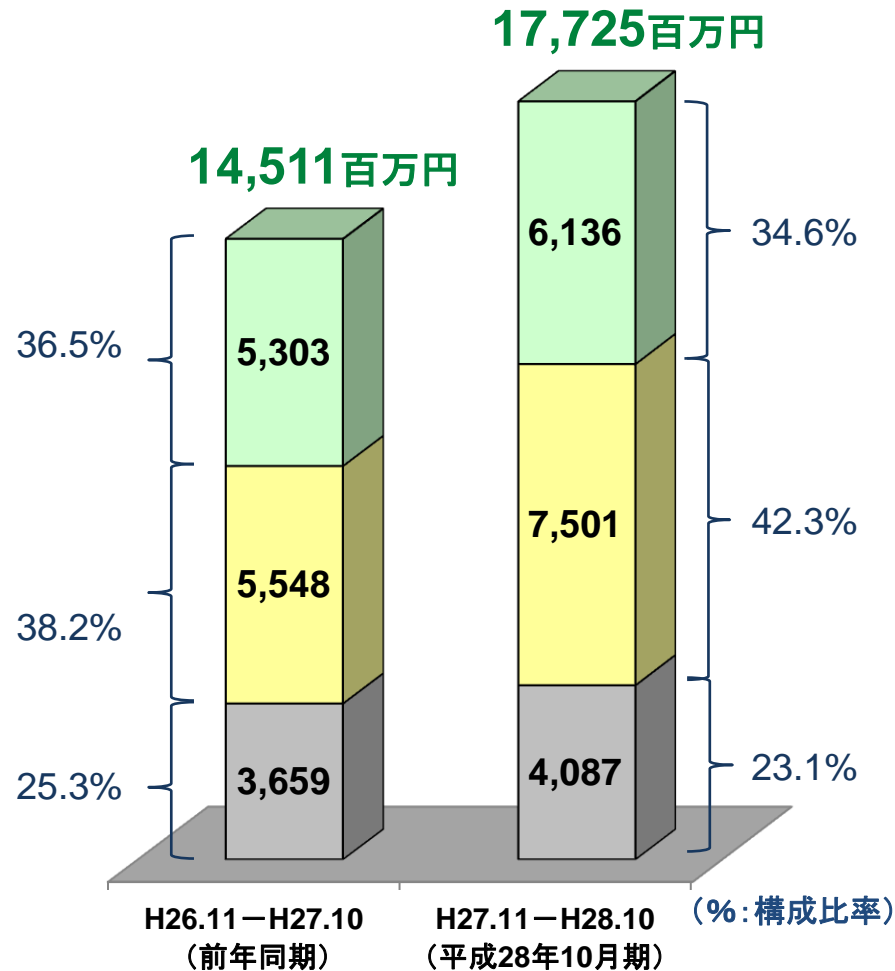


業績の概要（前年同期比較）

【単位：百万円】

	H26.11-H27.10 (前年同期)		H27.11-H28.10 (平成28年10月期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	14,511	100.0%	17,725	100.0%	+22.1%
売上総利益	3,893	26.8%	4,010	22.6%	+3.0%
営業利益	2,659	18.3%	2,834	16.0%	+6.6%
経常利益	2,721	18.8%	2,888	16.3%	+6.1%
当期純利益	1,927	13.3%	1,913	10.8%	▲0.7%

売上高構成比(前年同期比較)



【総売上高】

3,213百万円増 (+22.1%)

ソフトウェア売上高

832百万円増 (+15.7%)

ハードウェア売上高

1,952百万円増 (+35.2%)

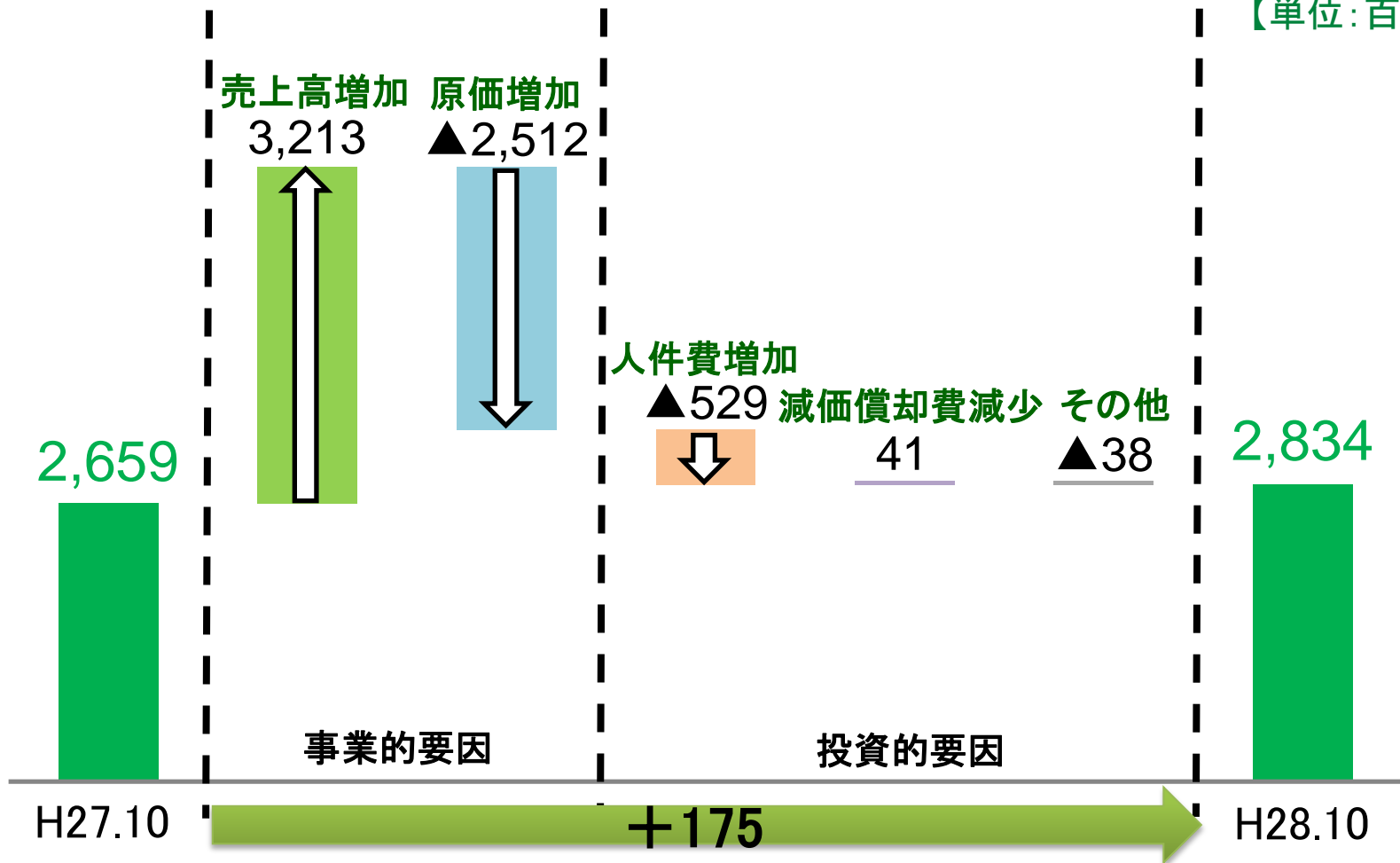
保守売上高

428百万円増 (+11.7%)

注:()内は増減率

通期営業利益増減要因

【単位：百万円】



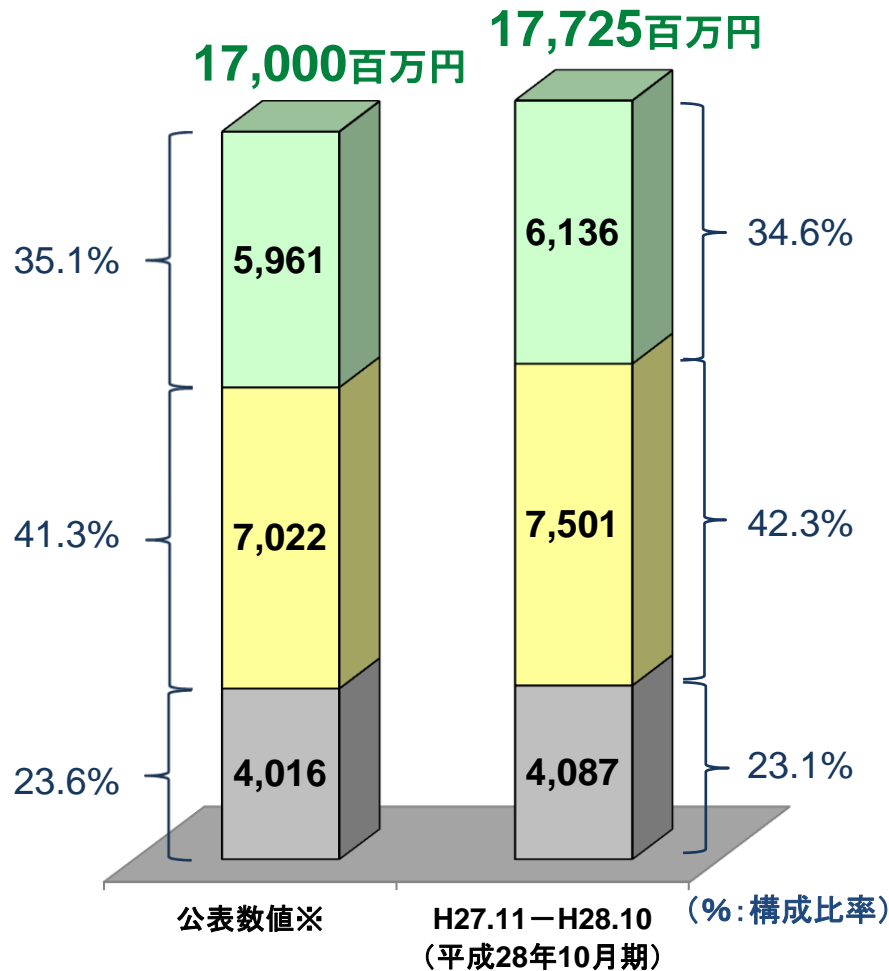
業績の概要(公表数値比較)

【単位:百万円】

	公表数値(※)		H27.11-H28.10 (平成28年10月期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	17,000	100.0%	17,725	100.0%	4.3%
売上総利益	4,200	24.7%	4,010	22.6%	▲4.5%
営業利益	2,750	16.2%	2,834	16.0%	3.1%
経常利益	2,800	16.5%	2,888	16.3%	3.2%
当期純利益	1,932	11.4%	1,913	10.8%	▲1.0%

※ 平成27年12月11日公表

売上高構成比(公表数値比較)



【総売上高】

725百万円増 (+4.3%)

ソフトウェア売上高

175百万円増 (+2.9%)

ハードウェア売上高

478百万円増 (+6.8%)

保守売上高

71百万円増 (+1.8%)

注:()内は増減率

※ 平成27年12月11日公表

上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
1	11月	東京西徳洲会病院(徳洲会グループ)※①	東京	486	●	●
2	11月	浜田医療センター(公的)	島根	365	●	●
3	11月	柏たなか病院	千葉	246	●	●
4	11月	はくほう会セントラル病院	兵庫	240	●	●
5	11月	光ヶ丘病院※②	富山	237	●	●
6	11月	久我山病院(セコムグループ)	東京	199	導入済	●
7	11月	あま市民病院(公的)※①	愛知	180	●	●
8	11月	非公開	—	174	医事会計のみ	—
9	11月	甲賀市立信楽中央病院(公的)	滋賀	50	導入済	●
10	12月	横須賀共済病院(準公的)※①	神奈川	747	●	●
11	12月	高松医療センター(公的)	香川	240	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

※② 医事会計のみ先行導入済

上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
12	12月	小樽掖済会病院	北海道	138	●	●
13	12月	恒生病院	兵庫	109	●	●
14	12月	伊丹恒生脳神経外科病院	兵庫	80	●	●
15	1月	岡山医療センター(公的)	岡山	609	●	●
16	1月	高崎総合医療センター(公的)	群馬	451	●	●
17	1月	新小山市民病院(公的)	栃木	300	●	●
18	2月	水戸医療センター(公的)	茨城	500	●	●
19	2月	相澤病院※①	長野	460	●	●
20	2月	船橋二和病院	千葉	299	●	●
21	2月	西東京中央総合病院	東京	270	●	●
22	2月	小金井リハビリテーション病院	東京	220	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
23	2月	大腸肛門病センター高野病院	熊本	166	●	●
24	2月	熱海所記念病院	静岡	144	導入済	●
25	2月	あさぎり病院※①	兵庫	99	●	●
26	2月	高知高須病院	高知	63	●	●
27	2月	相澤東病院	長野	42	●	●
28	3月	高松市民病院(公的)	香川	417	●	●
29	3月	浦添総合病院	沖縄	311	●	●
30	3月	協和会病院	大阪	301	導入済	●
31	3月	福岡輝栄会病院	福岡	259	●	●
32	3月	三愛病院	埼玉	199	●	●
33	3月	東海病院(準公的)	愛知	176	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
34	3月	皆野病院(徳洲会)	埼玉	150	導入済	●
35	3月	非公開	—	120	医事会計のみ	—
36	3月	非公開	—	111	医事会計のみ	—
37	3月	非公開	—	96	医事会計のみ	—
38	3月	千葉健生病院	千葉	90	●	●
39	3月	綾部ルネス病院※①	京都	86	●	●
40	3月	オホーツク勤医協北見病院	北海道	50	●	●
41	4月	加賀市医療センター(公的)	石川	300	●	●
42	4月	脳神経センター大田記念病院	広島	178	●	●
43	4月	熱海海見える病院	静岡	112	●	●
44	4月	非公開	—	100	医事会計のみ	—

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
45	4月	矢木脳神経外科病院	大阪	92	●	●
46	4月	あやせ循環器リハビリ病院	東京	57	●	●
47	4月	非公開	—	49	医事会計のみ	—
48	4月	天理市立メディカルセンター	奈良	—	●	●

下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
49	5月	京都岡本記念病院※①	京都	419	●	●
50	5月	松阪市民病院(公的)※①	三重	328	●	●
51	5月	海邦病院	沖縄	140	●	●
52	5月	蓮田一心会病院※②	埼玉	50	●	—
53	6月	林病院	福井	216	●	●
54	6月	東神戸病院	兵庫	166	導入済	●
55	6月	がくさい病院	京都	90	導入済	●
56	7月	蒲田リハビリテーション病院	東京	180	●	●
57	7月	増子記念病院	愛知	102	●	●
58	8月	鎌ヶ谷総合病院(徳洲会)※①	千葉	248	●	●
59	8月	春日野会病院	兵庫	54	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働
 ※② 医事会計のみ先行導入済

下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
60	8月	熊本泌尿器科病院	熊本	52	導入済	●
61	9月	トワーム小江戸病院	埼玉	200	●	●
62	9月	石巻市立病院(公的)	宮城	180	●	●
63	9月	新潟聖籠病院	新潟	180	●	●
64	9月	松江記念病院	島根	172	●	●
65	9月	京都ルネス病院	京都	171	導入済	●
66	9月	松尾内科病院※①	広島	110	●	●
67	9月	京都リハビリテーション病院※②	京都	64	●	—
68	9月	石垣島徳洲会病院(徳洲会)※②	沖縄	49	●	●
69	10月	山形市立病院済生館(公的)※①	山形	585	●	●
70	10月	中頭病院※①	沖縄	336	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働
 ※② 医事会計のみ先行導入済

下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
71	10月	医療福祉センター倉吉病院※①	鳥取	278	●	●
72	10月	新庄徳洲会病院(徳洲会)	山形	270	導入済	●
73	10月	福山リハビリテーション病院※①	広島	191	●	●
74	10月	佐賀記念病院	佐賀	177	●	●
75	10月	いすみ医療センター(公的)	千葉	144	●	●
76	10月	宝塚病院	兵庫	131	●	●
77	10月	藤井政雄記念病院※①	鳥取	120	●	●
78	10月	瀬戸内市立瀬戸内市民病院(公的)	岡山	110	●	●
79	10月	明生第二病院	大阪	98	●	●

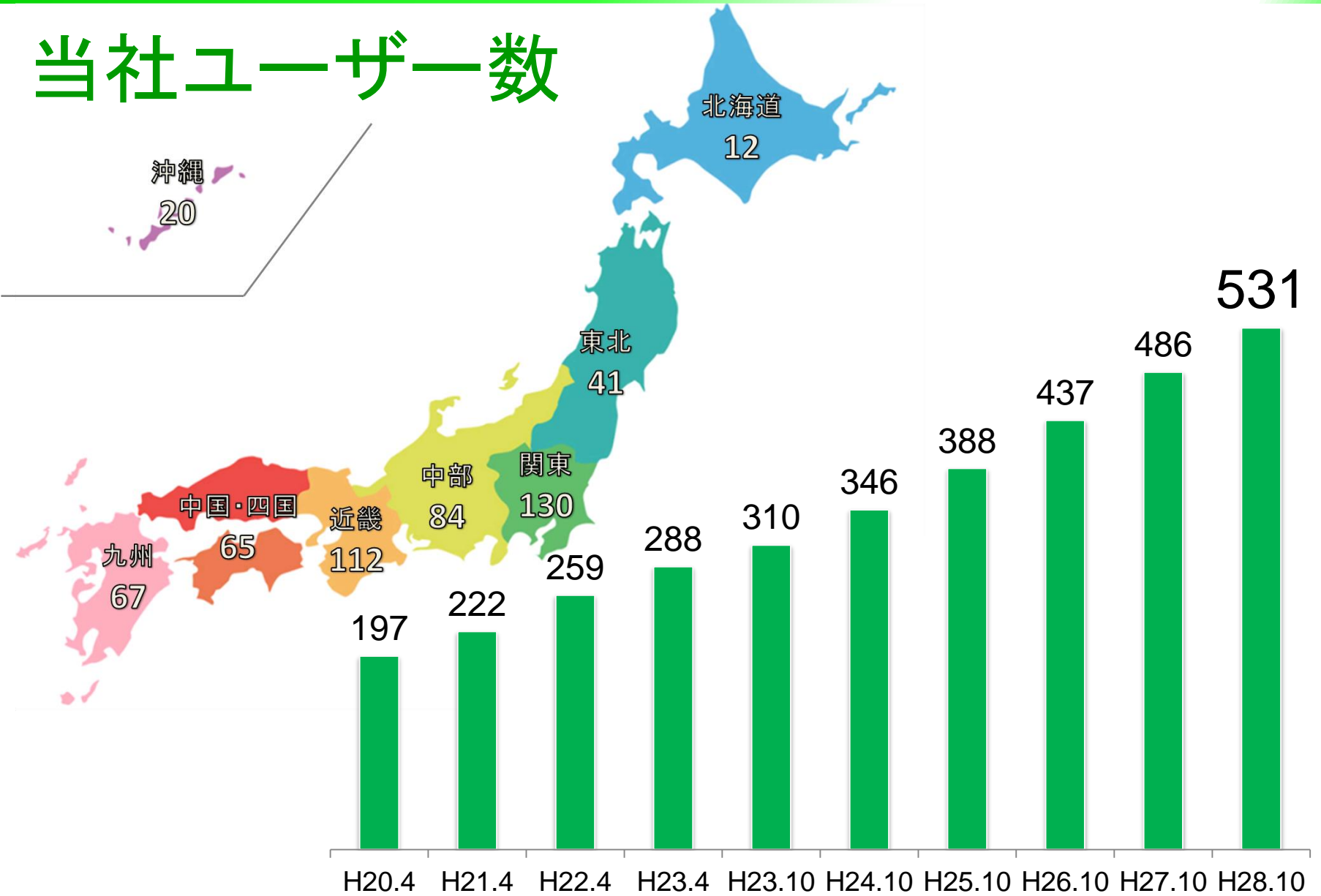
※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

＜グループ病院の累計数＞ 平成28年10月末現在

徳洲会グループ：63病院(全71病院)

セコムグループ：7病院(全19病院)

当社ユーザー数



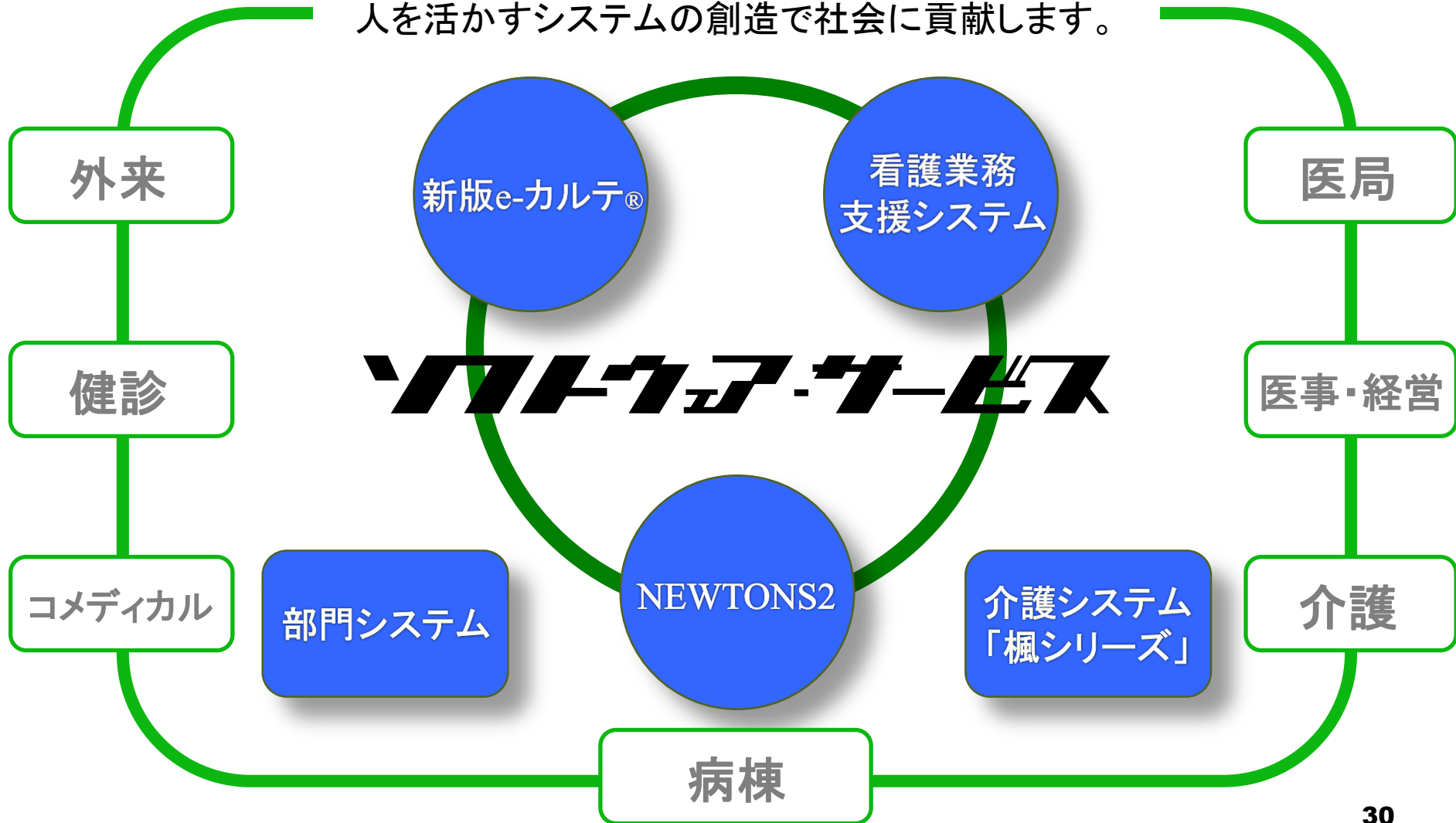
4. 今後の戦略

今後の戦略 <生産性の向上>

- 利益を確保しながら、シェアも追う。
⇒ 自社システムの販売強化。
- 作業標準化や導入工数の削減を図る。
- 教育により社員個々の能力向上を進め、ロスを削減していく。

当社システムラインナップ

人を活かすシステムの創造で社会に貢献します。



当社システムラインナップ

基幹システム

オーダリングシステム	電子カルテシステム	看護業務支援システム
------------	-----------	------------

部門システム

リハビリシステム	抗がん剤プロトコルシステム	ドック・健診システム
インシデント・アクシデントシステム	年間検査予定オーダシステム	特定保健指導システム
分娩管理システム	臨床検査システム	患者待受表示システム
ME機器管理システム	検体管理システム	会計待受表示システム
歯科レセプトシステム	NewtonsMobileシステム	投薬待受表示システム
DPC向け調査票出力	給食(割烹)システム	再来受付機システム
DPC対応	輸血管理システム	感染管理システム
がん登録システム	透析管理システム	Web診療予約システム
病歴システム	細菌検査システム	預かり金管理システム(精神科病院対応)
クリティカル・パスシステム	病理検査システム	物品管理システム
		病病・病診連携システム

介護システム

居宅介護支援システム	訪問系介護請求システム	老健介護請求システム
通所系介護請求システム	小規模多機能介護請求システム	特定施設入所介護請求システム
訪問看護ステーションシステム	病院入所介護請求システム	居宅療養管理指導請求システム

管理システム

公的病院向け財務会計システム	人事給与システム	勤務管理システム
----------------	----------	----------

当社システムラインナップ

ドック・健診システム

予約・受付、検査進捗確認、問診入力、実施・結果入力、会計等の健診検査業務全般に加え、特定健診にも対応した人間ドック・健診業務特化のシステムで効率的な業務をサポートします。

リハビリシステム

理学療法（PT）・作業療法（OT）・言語聴覚療法（ST）の各リハビリスケジュール管理、予約受付、実施・結果入力、記録及びアセスメント等のリハビリに特化したシステムで業務のサポートだけでなく、管理・統計も容易にします。

当社システムラインナップ

介護システム

居宅介護支援システム

居宅サービス計画ガイドラインに対応し、計画書作成・アセスメントから利用票・供票の発行、介護レセプト作成までケアマネージャーのすべての業務をサポートします。

通所系介護請求システム

介護保険請求業務に加え、パターンスケジュール管理による日々の予定・実績管理、食事管理・食箋転送等、ケアマネージャーの業務を幅広くサポートします。

訪問系介護請求システム

医療・介護を統合した利用者管理、訪問看護計画書・報告書・情報提供書の作成、スケジュール予定・実績管理をサポートします。さらに、介護レセプトに加え、医療訪問看護レセプトもサポートしております。

今後の戦略 <組織編成>

- 49期より、「10の部」「4つの室」に編成。
 - ⇒ 既存ユーザー営業に「顧客支援部」設置。
 - ⇒ 開発力やサポート力を大幅に強化した「システムソリューション部」を設置。
 - ⇒ 「先進技術研究室」を設置。将来の技術革新に向けた取り組みをおこなう。
 - ⇒ 「新製品企画管理室」を設置。顧客満足を高めるとともに、開発工程の円滑化を図る。

今後の戦略 <人事面>

経営戦略に適合した人材採用・育成計画

2015年 132名 2016年 144名 2017年 165名入社予定

生産性を高めるための取組み

一人あたり売上は上がっているが、利益も更に上げていく。

総額人件費管理・年俸制にてコストコントロール。

社員教育や品質管理についても、人員配置してさらに強化。

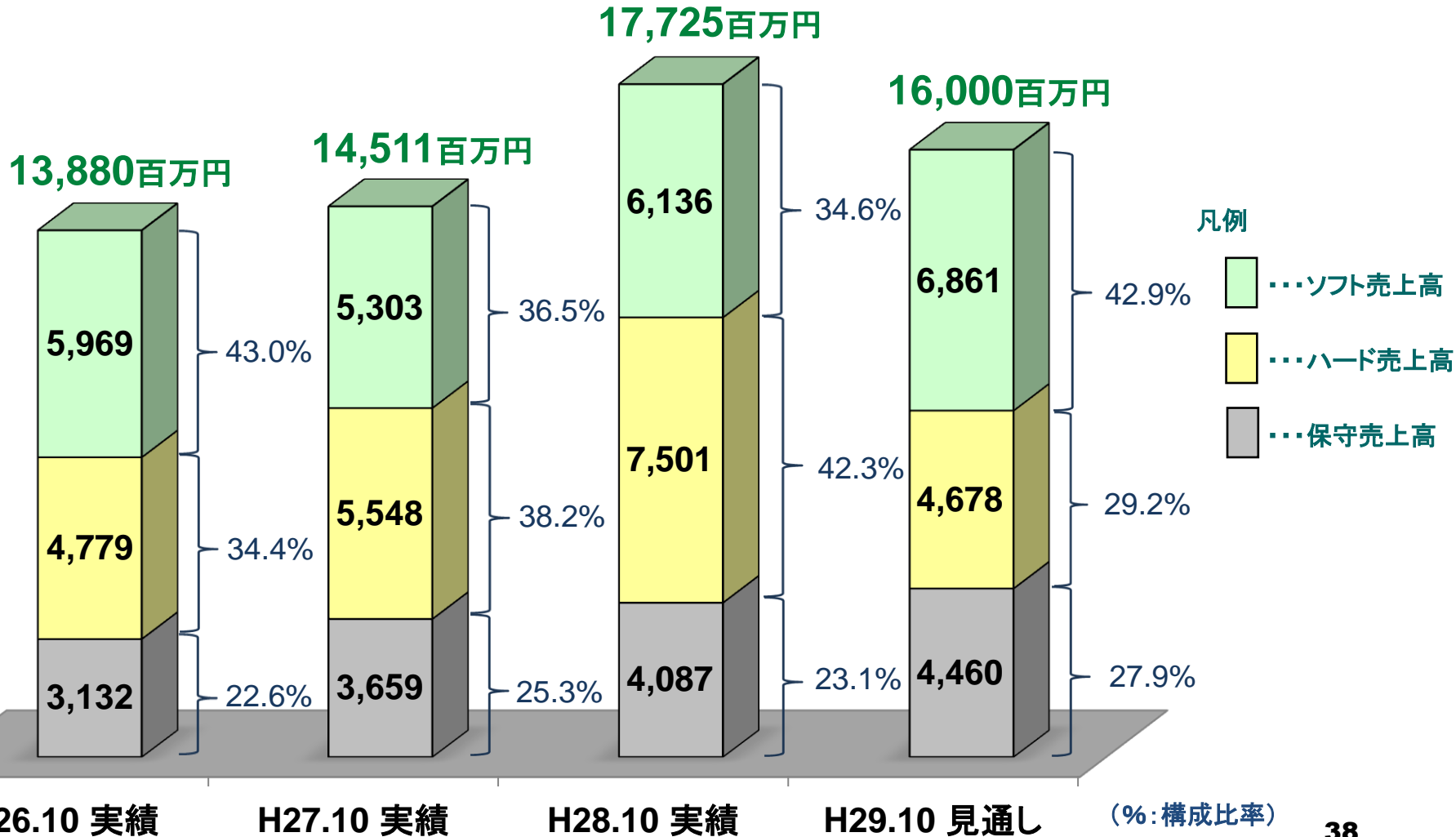
5. 49期(平成29年10月期)業績見通し

業績の概要（実績及び見通し）

【単位：百万円】

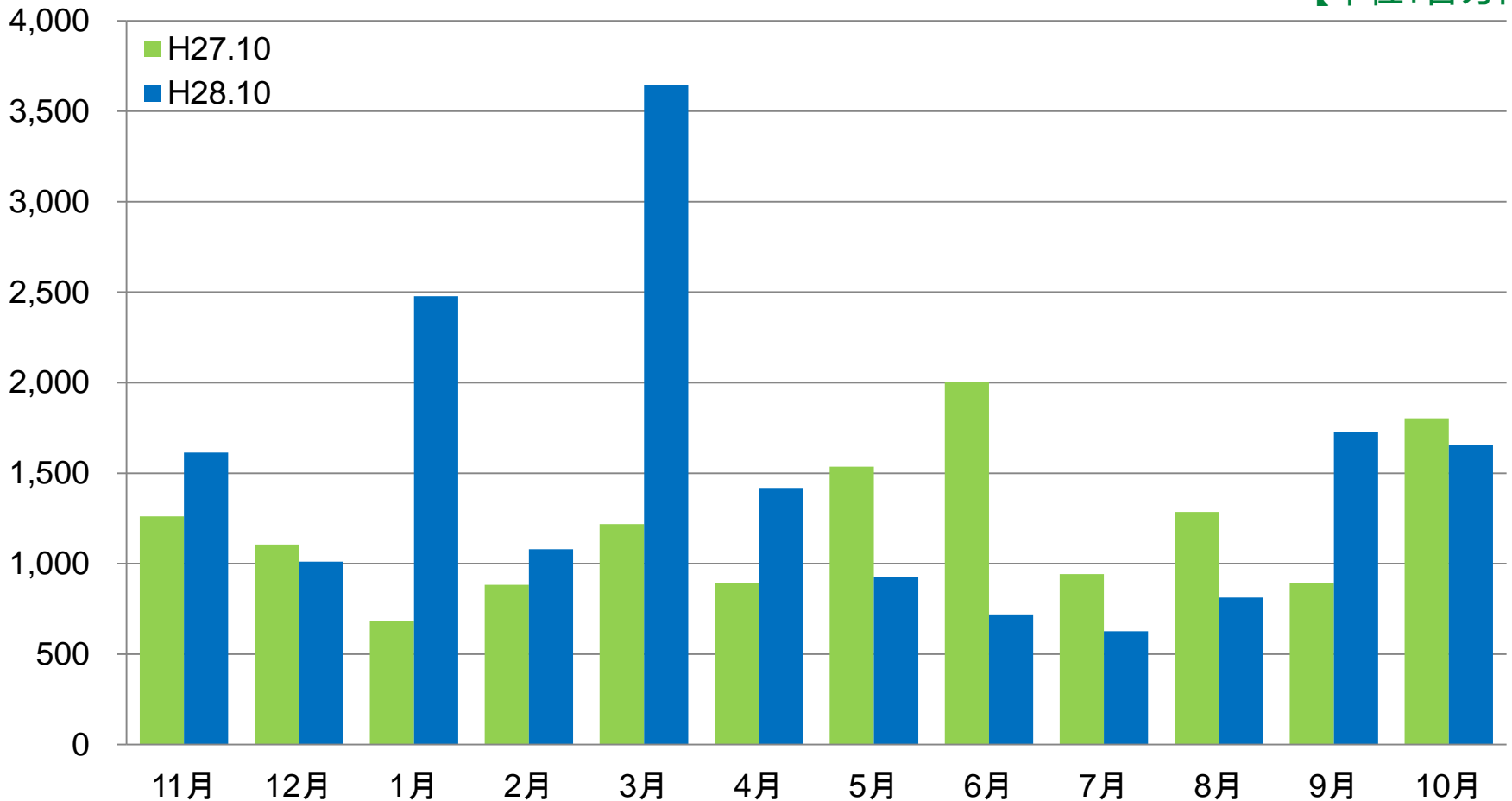
	H26.10 実績		H27.10 実績		H28.10 実績		H29.10 見通し	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	13,880	100.0%	14,511	100.0%	17,725	100.0%	16,000	100.0%
売上総利益	4,276	30.8%	3,893	26.8%	4,010	22.6%	4,650	29.1%
営業利益	3,140	22.6%	2,659	18.3%	2,834	16.0%	3,350	20.9%
経常利益	3,209	23.1%	2,721	18.8%	2,888	16.3%	3,400	21.3%
当期純利益	2,008	14.5%	1,927	13.3%	1,913	10.8%	2,340	14.6%
1株当たり 当期純利益	383円02銭	—	361円90銭	—	359円28銭	—	439円47銭	—

売上高構成比



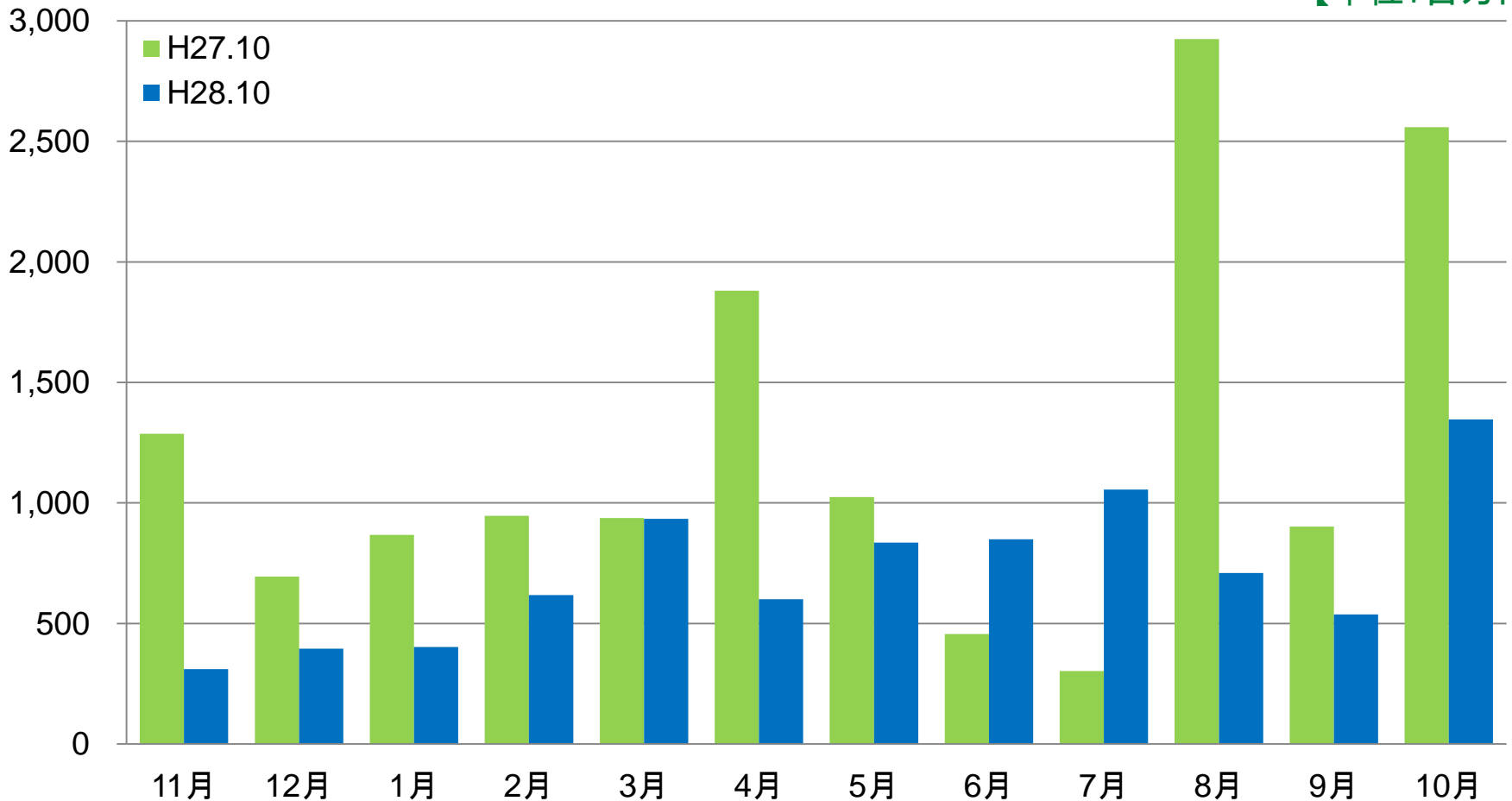
売上高の月次推移

【単位：百万円】



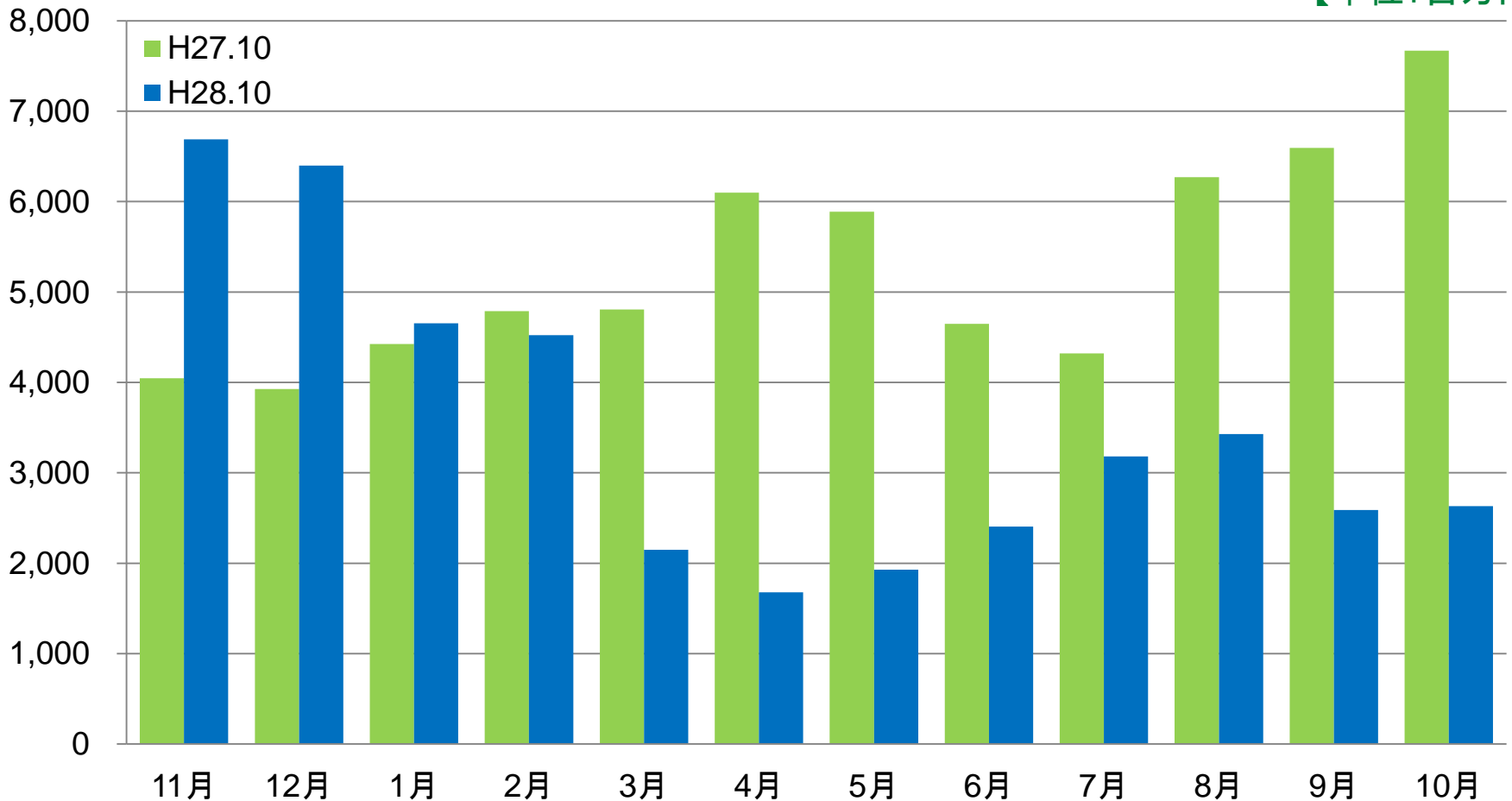
受注高の月次推移

【単位：百万円】



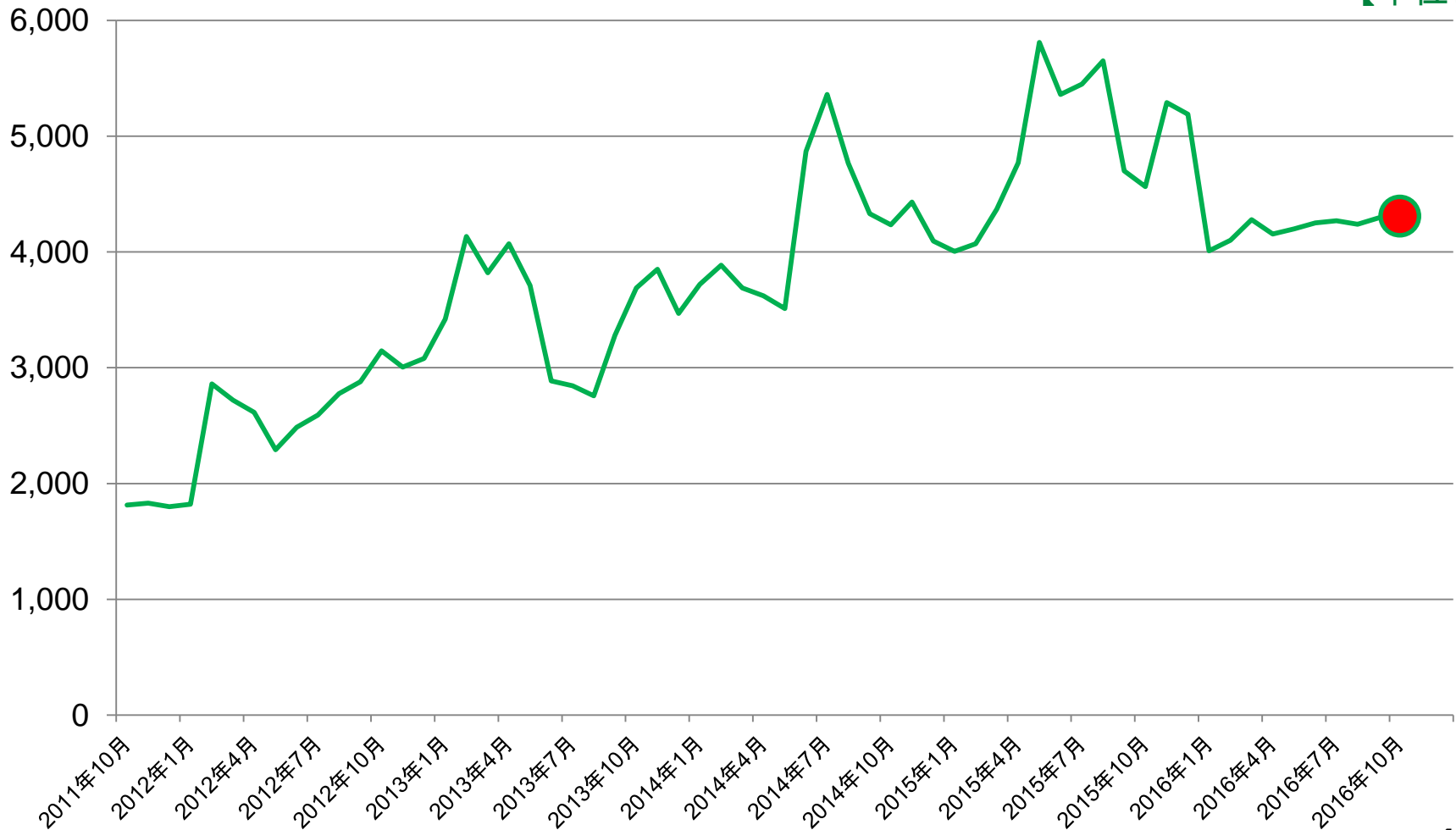
受注残高の月次推移

【単位：百万円】

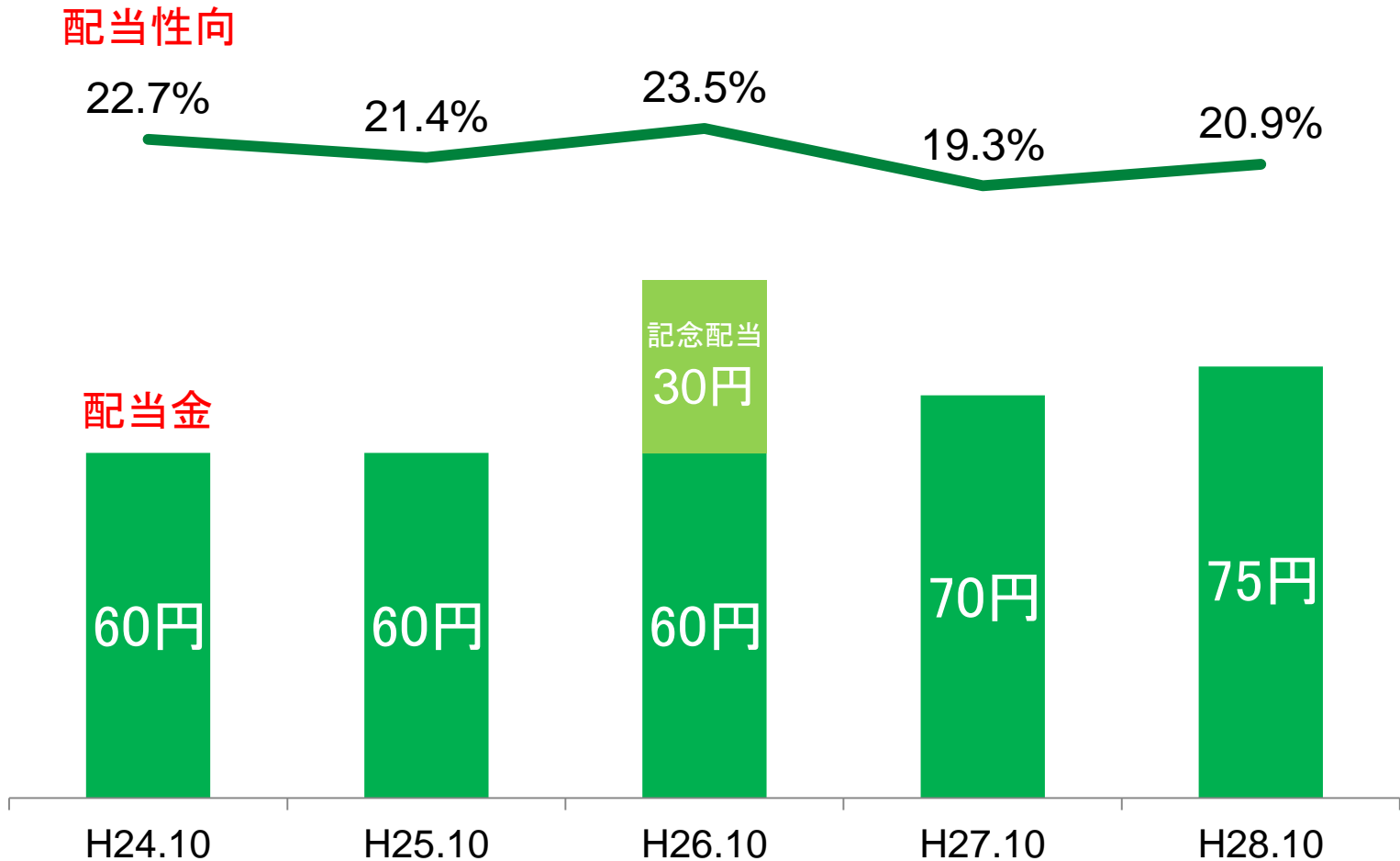


株価の推移 (2011年10月～2016年10月末終値)

【単位:円】



配当の推移



注:平成28年10月期の配当金及び配当性向については、第48回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載しております。

6. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長 宮崎 勝

取締役経営管理部長 伊藤 純一郎